

教師

バ  
美  
肉  
テ  
イ  
ー  
チ  
ャ  
ー  
轟

洲  
濱  
玉  
代

人物

轟 幸一 / まるくう (28) 双葉小学校教師

／ ヴィチューバー

加々美 鞠依 (12) 双葉小学校 6 年

小山 内茂也 (48) 無職

加々美 乙葉 (36) 鞠依の母

日置 澄子 (23) 幸一の後輩、新人教師

① ツーサイドコート・外観（夜）

2階建てのアパート

② 同・轟家・玄関（夜）

玄関の棚の上に、入院費用の請求書。  
名前は『轟和彦』、費用は8万円。

③ 同・同・洋室（夜）

PC機材のある小部屋。

3面ディスプレイを前に座る轟幸一  
（28）の後姿。やせたなで肩。

3

正面にゲーム画面、左に音声等の波形  
グラフィ画面、右に配信画面が映る。  
配信画面は、ゲーム画面を背景に、右  
下にワイプで紫髪、萌え袖パーカー  
の美少年3DCGアバターがいる。  
轟「（怖いイケボ）では、まるくう配信、そ  
ろそろお別れの時間だね、また来週！」

正面画面上部にウェブカメラ。  
轟とアバターが同時に手を振る。

投げ銭額の表示された、カラフルな  
コメントバーが流れる。

轟「あちやさん、ゆめさん、マリーさん、投  
げ銭ありがとねー。愛してるぜ！」

『配信は終了しました』の画面。

轟、喉を2、3度鳴らし

轟「（素の低い声）さて、今月の売上げは」

収益グラフ、投げ銭の総額5万円。

轟の口元に笑み。

#### ④ 双葉小学校・外観（朝）

都会の小学校。遠景に水色のタワー。

#### ⑤ 同・6-A

30人クラス。

黒板に『ネットリテラシー』の文字。

轟、道徳の教科書を手に持ち歩く。

後ろの席、机の下でスマホをいじる加

々美鞠依（12）。スタイルの良い黒

髪ツインテール。

轟 「SNSでは、個人情報を取り扱いに気を付けましよう、特に、名前、住所、生年月日などは絶対に教えないこと」

鞠依のスマホのトーク画面、相手は『まるくう@裏垢』であり『僕も好きだよ』との返信が来ている。頬を染めにやける鞠依。

轟 「加々美鞠依！」

鞠依の手から落ちたスマホを拾う轟

轟 「後で職員室に来なさい」

青ざめる鞠依。

## ⑥ 同・職員室

壁の時計は3時を指す。

轟が座り、鞠依のスマホを机に置いてある。うつむく鞠依。

轟 「なんでスマホ触ってたんだ？」

鞠依 「ごめんなさい、返してください」

轟 「（ため息）理由を聞いているんだ」

鞠依、拳を握る。

鞠依「だって、恋してるんだもん！」

轟の口がぽかんと開く。

鞠依「（早口）だって、鞠依の彼氏面白くてイケボで、毎日考えていたんだもん」

轟「あー、理由はわかった。だが授業はちゃんと聞きなさい。次は親に連絡するぞ」

鞠依「（頭を下げ）わかりました！」

轟、鞠依にスマホを渡す。

轟「全く、ませてるな：：クラスの奴か？」

鞠依「（スマホを抱き）ううん、まるくう君っていうの、ヴィチューバーなんだ！」

飲みかけたコーヒーでむせる轟。

轟「はあ？ ななな、なんて？」

鞠依「まるくう君だよ、先生知らないの？」

轟「知らないわけないだろうが！ そんなでもって、絶対にソイツは偽者だ！」

鞠依「先生、なんで絶対なんて言えるの？」

轟「（目を泳がせ）それは：：」

鞠依「正真正銘、本物だよ！ 鞠依がたくさん投げ銭したから、お礼にって「Mitterか

らDMで、裏アカ教えてもらったんだ！」  
鞠依、スキップで出ていく。

轟「（頭に手をあて）まじかよ」

### ⑦ 加々美家・外観

二世帯住宅。遠景に水色のタワー。

### ⑧ 同・鞠依の部屋

パステルカラー基调の部屋。

ベッドにてスマホを触る鞠依。

『まるくう@裏垢』とのトーク画面

『マリーちゃんの写真が欲しいな』

と返信が来る。『自分はこれ』と、

20代前半、茶髪の青年の写真が送ら

れる。背が高くさわやかな眼差し。

鞠依「（頬を染め）かっこいい……」

鞠依、鏡で髪を整え、アングルを調整

し、窓から明りの入る場所で自撮り。

鞠依、送信する手を止める。

鞠依「個人情報じゃないし……付き合ってる

んだから、大丈夫だよね」  
鞠依、送信ボタンを押す。

⑨ 小山内家・外観（夕）

赤い瓦の一戸建て。

⑩ 同・和室

暗い部屋、PC前に座る小山内茂外也（トモ）。ディスプレイの明かりに照らされた二重顎。  
PCの画面に、『まるくう@裏垢』と『鏡マリー』とのトーク画面。  
鞠依の写真が送られてくる。  
小山内、『可愛いね、好みだよ』と返信し、写真の鞠依の瞳を拡大。  
瞳の中、反射する窓の外景色。  
解像度を上げると、水色のタワー。  
にちやりと笑う小山内。

⑪ 双葉小学校・職員室

「8時を指す時計。

日置澄子（23）と轟、テスト採点中

轟の手は止まり、空中を見ている。

澄子「先輩が残業なんて、珍しいですね」

電話が鳴り、澄子が素早く取る。

澄子「はい、こちら双葉小学校」

小山内の声「すみません、鏡マリーの担任に

代わっていただけです」

澄子「轟ですね。先輩、お電話です」

轟が電話に出るが、切れている。

轟「いたずら電話か……？」

⑫ ツーサイドコート・外観（夜）

⑬ 同・小部屋（夜）

配信画面、配信の題名は『緊急配信！

大事なお知らせ』。まるくうのアバ

ターが正面を向いている。

轟「（イケボで）僕は、裏アカウントはありません

ませんし、誰とも付き合っていないません」

『お知らせ？』『何何？』『推せる』  
等のコメントが高速で流れる。  
轟「学生さんからのお金は受け取れません。  
自分で稼げるようになってから応援して  
ください」

配信画面内、頭を下げるまるくう。  
ウェブカメラに頭を下げる轟。

⑭ 双葉小学校・G-V教室（朝）

教壇に立つ轟、空いた鞠依の席を見る

⑮ 双葉公園

人気のない公園。

茶色のランドセルを背負った鞠依、  
ブランコに座りうつむいて、

鞠依「はあー。初めてサボっちゃった」

『まるくう@裏垢』とのトーク画面  
『配信は嘘だよ』『これからも応援  
してね』と返信が来ている。

鞠依「鞠依、信じていいのかな？」

公園沿いに黒いバンが停車している。  
ずんぐりした影が鞠依にかかる。  
鞠依が顔を上げる。

⑩ 双葉小学校・職員室

電話を掛けている轟。

轟 「加々美さん、鞠依さんの欠席理由は体調不良ですか？」

乙葉の声 「轟先生、どういう意味ですか？」

鞠依は今朝、学校に行きました。が……  
轟、眉根をよせる。

⑪ 双葉公園

小山内を見上げる鞠依。

小山内 「（鼻息荒く）マリーちゃん、こんな  
にすぐ見つかるなんて、運命だね」

鞠依 「えっ誰ですか、なんで名前」

小山内 「僕はまるくうの友達だよ、これから  
会えるから一緒に行こ」

小山内の手が、鞠依の手首を掴む。

鞠依「ひっ、やめて下さい、離して」

強く引っ張られ、ブランコの鎖から離れる鞠依の手。

小山内「（鼻息荒く）小6はかわいいなあ」

鞠依、足を踏ん張って抵抗する。

地面に引きずられた跡が伸びていく。

鞠依、口を開くが恐怖で声が出ない。

電子音がして、バンのドアが開く。

轟「リせスナいとに手え出してんじゃねえ！」

轟、小山内に体当たりするが、体格差で弾かれ、尻もちをつく。

小山内、鞠依の手を放しバンに乗る。

遅れて走って来た加々美乙葉（36）、

鞠依を抱きしめ、

乙葉「鞠依！」

乙葉の手にスマホ。マップ画面にGP

S『鞠依のスマホ』の表示。

鞠依「（次第に泣き出して）おかあさん」

土まみれの轟、走り去る黒いバンのナンバーをスマホで撮影する。